

令和7年
2025年

9月4日
木曜日

第11787号

食肉速報

THE DAILY MEAT NEWS

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



スターゼングループが2025年秋冬提案会を開催した……P3

- ▶ 7月の牛肉輸出は前年比30・0%増、最大輸出先は台湾……………P2
- ▶ [畜産物卸売価格・8月]和牛去勢A4価格は前年同期比86円高……………P2
- ▶ スターゼングループが2025年秋冬提案会を開催①ローストポークのさらなる拡大図る、和牛ビーフジャーキー新発売……………P3
- ▶ エス・ディー・エス バイオテックが「フードチェーン脱炭素シンポジウム2025(肉牛編)」を開催……………P4
- ▶ [POSランク7月ソーセージ製品]「シャウエッセン」が首位……………P4
- ▶ 黒毛和牛の早期出荷と慣行肥育牛肉の比較調査—肉用牛振興基金、食肉科研……………P5
- ▶ 2025年1～7月輸出額公表、牛肉は前年同期比10・8%増—農水省……………P6
- ▶ 「SAFE TABLE STATEMENT～国産チキンの安全・健やか宣言～プロジェクト」ポータルサイト立ち上げ……………P6
- ▶ 米久が「レンジで簡単 大きなロールキャベツ」を発売……………P6
- ▶ [鶏肉調製品輸入7月]計4万3306tで3・0%減…P7
- ▶ [ソーセージ輸入7月]計2726tで7・4%増……………P7
- ▶ ソーセージ製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……………P8
- ▶ [資料]畜産物卸売価格の推移……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……………P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日…P11

注目のヘッドライン

7月の牛肉輸出は前年比30・0%増、最大輸出先は台湾

財務省貿易統計によると7月の国産牛肉輸出量は972t(前年同月比30・0%増)と、前年同月を上回り、前月比でも0・7%増加した。

…詳細はP2

[畜産物卸売価格・8月]和牛去勢A4価格は前年同期比86円高

…詳細はP2



国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第50回 2026食肉産業展

2026 Japan Meat Industry Fair 50th.

会期● 2026年3月10日(火)⇒13日(金)

会場● 東京ビッグサイト 主催● 食肉産業展実行委員会 後援● 農林水産省、厚生労働省ほか



半世紀の集大成を 未来へつなぐ

圧倒的開催規模!

フード業界が最も注目する 国内最大規模の総合見本市



アジア最大級の食品・飲料総合展示会 同時開催 The 50th International Food and Beverage Exhibition FOODEX JAPAN 2025



7月の牛肉輸出は前年比 30・0%増、最大輸出先は台湾

財務省貿易統計によると7月の国産牛肉輸出量は972t(前年同月比30・0%増)と前年同月を上回り、前月比でも0・7%増加した。

輸出先国は合計34カ国・地域で、国別にみると台湾が最も多く190t。次いで、香港、米国、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポールと続く。

表記以外のその他の国はオランダ、カナダ、フィリピン、イタリア、ラオス、スペインなど。7月分輸出額は58億9285万円(24・0%増)となり、キロ当たりの輸出単価は6060円。

輸出内訳は冷蔵443t(19・9%増)、冷凍529t(39・9%増)。金額ベースは冷蔵が15・1%増、冷凍が34・5%増。

2025年7月の牛肉輸出状況

単位:kg、円、%

	香港	米国	カナダ	カンボジア	マカオ	シンガポール	タイ	台湾	その他国	合計
	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		
2024年計	1,457,988	2,138,636	95,635	901,317	199,869	545,818	711,601	2,094,296	1,967,917	10,113,077
前年比	95.9%	187.2%	108.9%	79.6%	140.6%	100.3%	150.0%	123.8%	116.8%	120.1%
2024年7月	126,184	84,567	9,772	53,919	10,297	45,565	44,538	186,096	186,915	747,853
8月	96,559	114,269	5,361	59,356	21,576	41,357	84,125	201,243	140,972	764,818
9月	148,383	159,276	5,669	82,831	14,282	41,270	100,588	180,022	188,821	921,142
10月	134,727	139,379	13,220	34,092	25,847	45,898	64,294	162,626	189,009	809,092
11月	172,858	151,958	7,838	88,228	22,207	56,168	85,096	173,067	173,693	931,113
12月	152,180	761,518	8,626	184,950	23,980	71,045	60,650	256,098	247,758	1,766,805
2025年1月	88,177	183,936	6,208	63,914	22,094	24,068	65,415	83,921	100,038	637,771
2月	124,384	90,621	8,811	84,846	5,452	43,563	50,149	192,993	148,769	749,588
3月	139,718	117,362	5,027	140,332	14,716	40,858	87,715	221,768	207,745	975,241
4月	149,618	94,974	10,099	117,592	18,538	48,917	71,980	249,251	198,397	959,366
5月	124,882	160,725	9,875	75,995	6,676	41,599	64,255	200,227	167,612	851,846
6月	126,305	208,134	8,152	49,374	13,772	51,971	64,290	222,475	221,462	965,935
7月	176,738	161,585	14,004	91,852	7,280	44,714	83,078	190,320	202,795	972,366
前年同月比	140.1%	191.1%	143.3%	170.4%	70.7%	98.1%	186.5%	102.3%	108.5%	130.0%
kg単価(円)	4,946	7,043	8,758	6,712	6,260	6,145	5,275	5,133	6,933	6,060
2025年累計	929,822	1,017,337	62,176	623,905	88,528	295,690	486,882	1,360,955	1,246,818	6,112,113
前年同期比	123.4%	125.3%	113.2%	138.1%	96.3%	101.9%	153.7%	121.4%	121.3%	124.2%

【畜産物卸売価格・8月】和牛去勢A4価格は前年同期比 86 円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた8月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は119万2600頭(前年同月比2・5%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が670円(97円安)、大阪が903円(107円高)。成牛のと畜頭数は7万6880頭(6・5%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2063円(86円高)、交雑牛B3が1568円(4円高)となった。

【豚】全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が4万6738頭(14・6%減)、中旬が3万7810頭(5・8%減)、下旬が6万2943頭(19・8%増)。東京の価格は

上旬が726円(73円安)、中旬が665円(129円安)、下旬が625円(92円安)で、大阪は上旬が882円(37円高)、中旬が921円(154円高)、下旬が896円(104円高)となった。

【牛】全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が3511頭(11・6%減)、中旬が2165頭(3・3%減)、下旬が4379頭(28・2%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2129円(135円高)、中旬が2099円(130円高)、下旬が1991円(32円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1626円(18円高)、中旬が1583円(62円高)、下旬が1502円(39円安)となった。

スターゼングループが2025年秋冬提案会を開催① ローストポークのさらなる拡大を図る、和牛ビーフジャーキー新発売

スターゼングループは3日、2025年秋冬提案会の記者会見を東京都港区の本社で開催。会見には、鵜橋正雄常務取締役、奥平裕執行役員営業本部副本部長兼FS統括部長、鈴木雄太営業本部営業統括部販売推進部販売管理グループリーダーらが出席した。

今秋冬は、健康志向が高まる中、ソーセージブランドの「我家のビストロ」をリニューアル。味のバランスを調整し、配合の変更により、より食べやすい商品とした。さらに、パッケージもブランドとして統一感のあるデザインに変更する。

また、ローストポークの市場拡大に注力する。春夏に“ご飯によく合う”などの提案を行い、新市場の開拓を図った結果、堅調に売り上げは拡大。秋冬はさらなる拡大を目指す。スライス厚を変更し、食べ応えのある食感の提案や、丼やラーメンのトッピングにそのまま使える利便性などもPRする。ローストビーフは年末需要に合わせて製造設備の強化を図る。さらに単身世帯が年々増加傾向にある中、つまみに関する調査で「味」に次いで重視されている「価格」に応え、乾燥商材のラインアップを拡大。ビーフ、ポーク、チキンのジャーキー、そしてカルパスについて、既存の100gに加えて、新たに30gの規格を投入する。同シリーズから「お肉屋さんのサラミ」を新発売するのに加え、世界中で和牛の需要が高まる中、新たに「黒毛和牛のビーフジャーキー」を新発売。海外市場への輸出も視野に入れる。春夏から新たに提案を開始した「酒味時間」についても、秋冬の食シーンなどに合わせて、消費者認知の拡大を図る。

来期(春夏)に向けては、ふるさと納税のさらなる拡大やローマイヤブランド商品群の強化、ローマイヤ直営店人気商品の販路拡大を図る。

会見では、初めに鵜橋常務(写真)が提案会の目的などについて次の通り説明した。

今年は、当社が現在進めている中期経営計画の最終年度であり、現状では計画に対して順調に推移している。ただ、ここにきてやはり先行き不透明な環境下にあり、原料価格もそうだが、物流費や人件費など、

販管費の上昇が目立ってきている。その半面、消費マインドは下がってきており、節約志向が強まる消費マインドに対して、販管費が上昇しているという狭間においてどのように

バランスを取っていくかが非常に重要な課題であり、その中で舵を取りながら営業を行っている。

これに対してポイントは三つに絞られると考えている。一つ目はコストが上昇する環境下において、いかに価格を維持できるかにフォーカスして、商品周りの効率化を考えている。もう一つは当社の基軸であるブランディングであり、これを通じた価格以上の価値の創出にフォーカスしている。三つ目は現在香港がメインだが、加工品を含めた海外輸出にフォーカスしており、しっかり実績が出つつある。そうした中、海外での販売を視野に入れた商品設計をしっかりとやっていると、例えば使用原料などによっては、輸出できないなどの問題も出てくるので、海外を見据えた商品開発を行っている。これらはいずれも現在進めている中期経営計画において「国内事業の効率化」「高付加価値商品の開発推進」「海外事業の積極展開」として挙げており、それに呼応した内容となっている。

また、今回の提案に加え、現在社内において体制構築を進めている。付加価値の創出を軸に、ふるさと納税やシルバー市場といった新たな成長市場にアプローチを行っており、さらに「ローマイヤ」ブランドの再整備を行っている。また、当社が得意とするオリジナル原料ならびに強みであるハンバーグやローストビーフのリブランディングを進めている。

現在、業務用外食と小売の垣根がなくなってきていることを強く意識した提案をさせていただいている。商品周りについては、以前から行っている当社の営業スポットや各拠点において、業態を越えた提案を行っている。(連載続く)



エス・ディー・エス バイオテックが 「フードチェーン脱炭素シンポジウム 2025〈肉牛編〉」を開催

(株)エス・ディー・エス バイオテックは8月27日、東京都中央区の室町三井ホール&カンファレンスおよびオンラインで「フードチェーン脱炭素シンポジウム2025〈肉牛編〉—持続可能な畜産の未来:環境と経済の調和を目指して」を開催した。この企画は、肉牛生産現場におけるメタン削減の取り組みに対して、フードチェーン全体での生産者支援の機運醸成を図るもの。畜産業における各社・各組織の講演が行われ、牛のGHG削減に関心を持つ100人近い参加者が知見を得た。

冒頭、同社の竹田正俊社長は「メタンは地球温暖化に大きな影響を及ぼす温室効果ガス。特に畜産業界における反すう動物が排出するメタンの削減は、温暖化対策の中で重要な課題の一つとなっている。2021年に開催されたCOP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議)では、30年までに20年比で30%削減するという目標が掲げられ、世界各国でさまざまな取り組みが進んでいる。日本でも農業全体で50年までにカーボンニュートラルを目指す動きが加速しており、その中で畜産部門は特に注目されていると考える。課題に取り組むためには、生産者の方々だけでなく、フードチェーン全体が連携していくことが必要だ」とあいさつした。

この日は政策、技術、畜産、金融の専門家が登壇し、それぞれの視点で脱炭素に向けた取組内容などを説明した。初めに、農水省畜産局総務課畜産総合推進室の山本将平専門官がカーボンニュートラルの実現に向けた政策ビジョンを解説。続いて、北海道大



学大学院農学研究院畜産科学分野の小池聡教授が科学的アプローチに基づく取り組みとその社会実装の展望を語った。

さらに、(株)熟豊ファームの石飛修平社長は肉牛飼育現場でのメタン削減の取り組みを生産者視点で紹介し、農林中央金庫食農法人営業本部営業企画部サステナビリティ共創グループの宮島誠史部長代理は、カーボンインセッティングの可能性を説いた。

最後に、エス・ディー・エス バイオテックのアニマルトリートメント部国内事業グループの杉本康明グループ長が、同社製品「カシューナッツ殻液」について、メタン削減に向けた実績などを説明した。

また、交流企画ネットワーキングでは、その日集まった各分野の関係者同士で交流。いくつかの企業はパネル展示で自社製品や取り組みを広めたほか、会場ではカシューナッツ殻液を飼料として与えた和牛のローストビーフ、ビーフジャーキーが提供された。参加者は互いに情報を共有するなど、今後の取り組みに向けて、非常に有意義な場となった。

【POS ランク 7月ソーセージ製品】「シャウエッセン」が首位

(株)KSP—SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した7月POS/ソーセージ製品売れ筋ランキングによると、日本ハム「シャウエッセン」(117g×2)が首位だった。

2位はプリマハム「香薫あらびきウインナー」(90g

×2)、3位はプリマハム「香薫あらびきウインナー大袋」(550g)、4位は丸大食品「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」(90g×2)、5位は伊藤ハム「グラントアルトバイエルン」(127g×2)だった。対象店舗1069店舗の総販売金額は12億1047万66円。

黒毛和牛の早期出荷と慣行肥育牛肉の比較調査を実施 肉用牛振興基金と食肉科研が

一般社全国肉用牛振興基金協会はこのほど、令和6年度の畜産生産力・生産体制強化対策事業(肉用牛短期肥育・出荷月齢の早期化推進)として、黒毛和種の早期出荷牛肉と慣行肥育牛肉の比較調査結果を取りまとめ、肉用牛の短期肥育・出荷月齢の早期化に取り組む先進地を2カ所(鹿児島県)訪問し、その内容を先進地調査報告書として取りまとめた。

このうち、黒毛和種の早期出荷牛肉と慣行肥育牛肉の比較について、調査を行った一般社食肉科学技術研究所の小原健児理事長と吉田由香専務理事に調査の経緯と結果をきいた。調査結果によると、早期牛は和牛香は低かったが、風味に關与するオレイン酸割合や官能検査のうまみ、コク、軟らかさは慣行牛と同程度であること、また、脂肪含量が多過ぎると「和牛らしさ」が低くなる傾向があることが分かった。吉田専務理事は「予想と違う結果となった。調査頭数が106頭、部位もサーロインと限定的であり、早期牛と慣行牛の肥育結果として絶対的なものではないが、早期牛の良さが出たといえる」と述べた。

調査はすでに早期出荷に取り組んでいる8農場からサンプルとして、早期出荷牛80頭、慣行出荷牛26頭から1頭当たりサーロイン前側(リブローズ側)、後側(ランイチ側)の2部位からサンプルを取り、BMSではなく、全体の検査の平均値を比較している。早期牛は平均25・3カ月齢、BMS8・4、慣行牛は30・2カ月齢、

8・7。

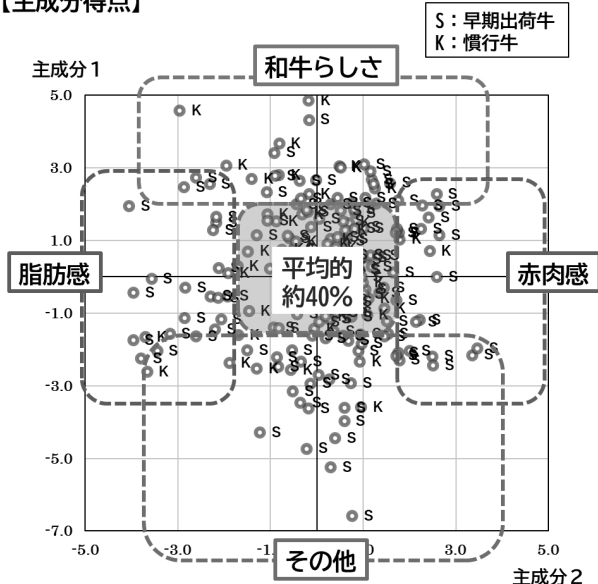
成分検査では、水分とタンパク質、グルタミン酸、ペプチドは早期牛、脂質は慣行牛が高かった。また、パルミチン酸やオレイン酸、肉のジューシーさを表す融点、保水性、加熱損失率は早期牛、慣行牛で大きな差はないという結果となった。

官能検査では、訓練している官能検査員が検査を行い5段階で評価を行った。香りは和牛香、脂っぽい香り、キメで慣行牛の数値が高かったが、うまみ、コク、軟らかさでは早期牛、慣行牛で大きな差はみられなかった。また、検査の中で、脂肪が早期・慣行共に約40%は和牛として平均的な値(バランスの良い味わい)を示したが、40%を大きく超えると和牛香のスコアが下がる傾向がみられた。BMSやオレイン酸含量の増加を求める生産が進められているが、過去の文献にも脂肪含量が高過ぎるとあまり良くなく、赤身と脂肪のバランスの良さが良い結果につながるとの調査がある。今回の食肉科研の調査も同様の傾向といえる。

また、今回は、早期と慣行全ての牛の特徴をつかむため、主成分分析を行い、和牛らしさ(和牛香、甘み、コク)、赤肉感(うまみ、牛肉らしい香り)、脂肪感(キメ、軟らかさ、脂っぽい香り)、その他のグループ分けを行った。

その結果、全サンプルの40%はこれらのバランスの良い肉となった。これらを除くと、早期については赤肉感が強いグループ、慣行は和牛らしさ、脂肪感が強いグループにばらけることが分かった。ただ、脂肪含量が強過ぎると、和牛香のスコアが下がる傾向がみられることから、吉田専務は「今後は脂肪含量が一つの目安となり、生産者、消費者の嗜好に合わせ、和牛らしさ、赤肉感、どちらかに寄せる改良が可能になるだろう」と述べた。また、小原理事は「評価軸を作れた点も良い成果だと考えている。今年度は、黒毛和種のウチモモ、ソトモモ、交雑種のサーロインの調査を行う。今まで行われていない調査であり、また違った評価が出るかもしれない。さらなる比較検証が可能になる」と述べた。

【主成分得点】



2025年1～7月輸出額公表、牛肉は前年同期比10・8%増 ——農水省

農水省はこのほど、2025年1～7月の農林水産物・食品の輸出額を公表した。1～7月の累計額は、9388億円(前年同期比15・1%増)と前年同期を上回った。7月単月での輸出額は1291億円(12・9%増)。

1～7月の累計額を品目別にみると、牛肉が385億8600万円(10・8%増)、豚肉が15億5100万円(16・

7%増)、鶏肉が12億1300万円(10・4%減)となっている。

一方、7月単月では、牛肉が60億1400万円(23・9%増)、豚肉が2億1500万円(0・5%減)、鶏肉が2億1600万円(6・6%増)と、牛肉は、米国向けが伸長したことなどにより大きく増加した。

SAFE TABLE STATEMENT ～国産チキンの安全・健やか宣言～プロジェクト ポータルサイト立ち上げ

「SAFE TABLE STATEMENT～国産チキンの安全・健やか宣言～プロジェクト」(事務局＝一般社日本食鳥協会)はこのほど、カンピロバクターなどの食中毒低減を図る目的でポータルサイトを立ち上げた。

生産者や食鳥処理事業者が、農水省「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック」に基づいた自らの衛生に関する取り組みを社会に向けて発信(自主取組宣言、「国産チキンの安全・健やか宣言」〈略称＝あんすこ宣言〉)するとともに、飲食店も含めた小売、消費者などフードチェーン全体に「鶏肉は生食できず、75度1分



国産チキンの安全・健やか宣言

SAFE TABLE STATEMENT

以上の中心部までの十分な加熱が必要」という意識を広げていく。

「SAFE TABLE STATEMENT～国産チキンの安全・健やか宣言～」ポータルサイト <https://safe-table-statement.jp/>

米久が「レンジで簡単 大きなロールキャベツ」を発売

米久は1日、電子レンジで手軽に調理ができる、メインディッシュに最適な「レンジで簡単 大きなロールキャベツ」を発売した。

電子レンジで約5分加熱するだけで、手間のかかるロールキャベツが簡単に完成する。煮込み調理でも約5分で仕上がるため、タイパ(タイムパフォーマンス)重視の現代の食卓に最適な商品。ボイルしたキャベツに、豚肉使用のシンプルな味付き中具を丁寧に手巻きし、中具のほぐれる食感を実現。まるで家庭で手作りしたような味わいが楽しめる。約90gの大きなロールキャベツ4個入りの商品で、価格変動や季節の影響



を受けず、急な寒さや献立に困った時にも頼れる一品となっている。

【鶏肉調製品輸入7月】 計5万27 tで5・4%増

7月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計5万27t(前年同月比5・4%増)と前年を上回った。前月から5979t増加した。国別ではタイが2万8425t(2・

2%増)と増加。中国も2万587t(8・2%増)と増加した。そのほか韓国が45t(35・6%増)、ブラジルが16t(83・0%減)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、()内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2024年7月	19,023 (127.4)	27,823 (116.0)	94 (123.7)	33 (116.4)	- (-)	- (-)	47,452 (120.2)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)
10月	17,078 (114.2)	29,949 (118.2)	76 (-)	135 (170.6)	- (-)	- (-)	47,902 (117.4)
11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (79.5)	22,713 (104.6)	19 (24.7)	27 (29.1)	- (-)	- (-)	33,788 (94.7)
3月	16,674 (126.1)	25,989 (106.2)	99 (521.2)	32 (56.4)	14 (100.0)	- (-)	43,537 (113.6)
4月	16,940 (100.9)	25,048 (92.5)	19 (51.2)	38 (25.1)	- (-)	- (-)	43,306 (97.0)
5月	15,343 (109.3)	26,836 (102.8)	23 (59.8)	43 (65.9)	- (-)	- (-)	43,252 (106.1)
6月	16,990 (109.3)	26,095 (98.6)	18 (96.3)	27 (118.1)	13 (90.0)	- (-)	44,048 (103.4)
7月	20,587 (108.2)	28,425 (102.2)	16 (17.0)	45 (135.6)	14 (-)	- (-)	50,027 (105.4)

【ソーセージ輸入7月】 計2001 tで16・8%減

7月のソーセージ輸入通関実績は計2001t(前年同月比16・8%減)で大幅な減少となり、前月比では306t減となった。国別では中国が547t(24・6%増)

と前年を上回ったが、米国は561t(9・4%減)、タイは526t(8・8%減)、ブラジルは248t(42・6%減)、デンマークは36t(77・5%減)と減少した。

ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610(91.7)	7,066(106.9)	6,321(88.3)	6,422(174.6)	1,347(114.3)	28,444(106.2)
2023年計	5,104(91.0)	6,721(95.1)	6,470(102.4)	4,544(70.8)	1,230(91.3)	25,580(89.9)
2024年計	5,162(101.1)	5,975(88.9)	6,637(102.6)	5,730(126.1)	1,197(97.3)	26,196(102.4)
2024年7月	439(108.7)	577(91.0)	619(106.4)	432(84.9)	160(118.5)	2,404(101.2)
8月	474(92.8)	451(89.5)	493(60.8)	629(147.7)	133(102.3)	2,351(92.4)
9月	468(100.9)	499(88.0)	450(88.8)	516(145.4)	83(180.4)	2,104(101.7)
10月	400(75.2)	634(110.5)	490(88.9)	692(163.6)	37(63.8)	2,384(106.8)
11月	491(130.2)	400(71.7)	570(113.1)	663(235.9)	101(69.7)	2,325(114.8)
12月	567(115.7)	396(61.1)	677(104.6)	383(123.2)	166(190.8)	2,343(102.3)
2025年1月	576(169.9)	357(79.7)	389(113.7)	422(140.2)	112(533.3)	1,990(128.3)
2月	296(83.2)	488(87.9)	381(90.0)	643(197.7)	126(212.5)	2,036(114.0)
3月	516(147.6)	570(112.5)	647(125.0)	842(206.9)	54(70.4)	2,772(139.6)
4月	557(134.7)	514(99.6)	644(83.1)	776(150.1)	65(41.7)	2,726(107.4)
5月	528(113.8)	366(72.9)	521(80.5)	685(196.3)	14(10.8)	2,260(103.1)
6月	477(119.0)	452(92.2)	482(76.3)	713(138.2)	63(87.5)	2,307(103.4)
7月	547(124.6)	526(91.2)	561(90.6)	248(57.4)	36(22.5)	2,001(83.2)

ソーセージ製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年7月 対象店舗数:1,069店舗 品目合計:12億1,047万66円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	日本ハム シャウエッセン 117g×2	162,067,745	412,599	392.8	13.4	11.0	96.8
2	プリマハム 香薫あらびきウインナー 90g×2	138,649,079	495,422	279.9	11.5	13.2	93.5
3	プリマハム 香薫あらびきウインナー大袋 550g	73,704,249	98,533	748.0	6.1	2.6	79.1
4	丸大食品 燻製屋熟成あらびきポークウインナー 90g×2	42,173,190	151,164	279.0	3.5	4.0	71.8
5	伊藤ハム グランドアルトバイエルン 127g×2	40,832,818	115,563	353.3	3.4	3.1	84.3
6	日本ハム シャウエッセン大袋 468g	37,734,180	48,726	774.4	3.1	1.3	58.1
7	米久 御殿場高原あらびきポーク 袋 220g	27,185,843	95,781	283.8	2.3	2.5	38.1
8	伊藤ハム ポークピッツ2P 82g×2	21,403,590	59,795	358.0	1.8	1.6	63.6
9	フードリエ バリッと朝食ウインナー 230g	18,704,081	67,025	279.1	1.6	1.8	72.7
10	日本ハム 豊潤あらびきポークウインナー 90g×2	18,568,155	74,194	250.3	1.5	2.0	33.1
11	丸大食品 徳用ウインナー やわらかうす皮タイプ 420g	17,848,671	49,154	363.1	1.5	1.3	46.1
12	丸大食品 串フランク 36g×10	14,950,733	37,015	403.9	1.2	1.0	53.5
13	伊藤ハム 朝のフレッシュあらびきウインナー 90g×2	14,177,590	53,782	263.6	1.2	1.4	41.9
14	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 230g	14,122,360	48,775	289.5	1.2	1.3	33.4
15	日本ハム グルメイドステーキ 208g	13,952,998	37,097	376.1	1.2	1.0	53.4
16	伊藤ハム まるごと美味しいフランク 300g	13,346,720	42,956	310.7	1.1	1.1	68.3
17	日本ハム シャウエッセン 花火味 196g	13,237,779	37,042	357.4	1.1	1.0	68.9
18	伊藤ハム ロイヤルポールウインナー 290g	11,798,983	34,268	344.3	1.0	0.9	26.3
19	日本ハム シャウエッセン シャウスライス 3パック	10,825,590	39,672	272.9	0.9	1.1	78.3
20	フードリエ 家族の定番モーニングステーキ 153g	9,210,084	33,059	278.6	0.8	0.9	62.5
21	伊藤ハム ポークピッツ徳用サイズ 300g	8,217,265	14,742	557.4	0.7	0.4	31.0
22	プリマハム お弁当ランドタコさんウインナー 72g	7,864,264	54,385	144.6	0.7	1.4	76.1
23	丸大食品 徳用赤ウインナー 180g	7,627,187	25,957	293.8	0.6	0.7	51.6
24	日本ハム モーニングサブ 160g	7,468,133	26,880	277.8	0.6	0.7	55.7
25	伊藤ハム ポークピッツ 82g	7,413,464	35,149	210.9	0.6	0.9	63.1
26	日本ハム シャウエッセン4種のチーズ 94g×2	7,335,525	19,194	382.2	0.6	0.5	51.7
27	米久 串付きフランク 32g×10	7,114,660	19,471	365.4	0.6	0.5	29.8
28	日本ハム アンティエ レモン&パセリ 150g	6,775,216	19,341	350.3	0.6	0.5	64.1
29	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 610g	6,095,599	8,820	691.1	0.5	0.2	15.4
30	フードリエ あらびきソーセージステーキ 380g	6,080,047	16,021	379.5	0.5	0.4	38.3
31	日本ハム シャウエッセンチリ 98g×2	6,071,597	16,306	372.4	0.5	0.4	46.7
32	シジシージャパン Vパックポークウインナー 280g	5,802,515	16,459	352.5	0.5	0.4	21.1
33	イオントップバリュ TV 特級あらびきポークウインナー 260g	5,736,148	14,870	385.8	0.5	0.4	9.1
34	フードリエ やみつきになる辛口チョリソー 160g	5,660,237	19,558	289.4	0.5	0.5	46.1
35	信州ハム グリーンマーク粗挽ウインナー 100g	5,545,093	20,002	277.2	0.5	0.5	49.0
36	プリマハム サラダにちょうどいいねピアソーセージ80g	5,409,401	27,103	199.6	0.5	0.7	63.4
37	丸大食品 燻製屋ウインナーレモン&パセリ 80g×2	5,403,522	19,360	279.1	0.5	0.5	33.7
38	プリマハム ジョンソンヴィル オリジナルスモーク 360g	5,374,478	7,925	678.2	0.4	0.2	55.9
39	日本ハム シャウエッセン 156g	5,337,572	20,055	266.2	0.4	0.5	3.9
40	丸正フーズ えびの高原 ロングサイズウインナー 220g	5,206,163	21,850	238.3	0.4	0.6	5.1
41	シジシージャパン Vパック 皮なしウインナー 300g	5,129,141	17,077	300.4	0.4	0.5	25.2
42	フードリエ やみつきになるレモン&パセリウインナー	5,102,979	17,799	286.7	0.4	0.5	45.6
43	日本ハム ウイニーミニ 72g	5,017,274	42,331	118.5	0.4	1.1	51.6
44	丸大食品 味の主演ポロニアソーセージ 280g	4,841,186	14,079	343.9	0.4	0.4	42.3
45	銀河フーズ チーズでるソーセージ 63g×2	4,782,380	15,382	310.9	0.4	0.4	18.3
46	プリマハム ジョンソンヴィル チェダーチーズ 396g	4,586,581	7,210	636.1	0.4	0.2	46.0
47	信州ハム グリーンマークポーク&チキンウインナー 90g×2	4,305,785	15,796	272.6	0.4	0.4	23.7
48	日本ハム ウイニーミニ 72g×2	4,258,919	16,125	264.1	0.4	0.4	33.8
49	米久 御殿場高原あらびきポーク 1000g	4,178,725	4,451	938.8	0.4	0.1	4.9
50	伊藤ハム ヘルガヴルストブラックベツパー 120g	4,070,059	13,735	296.3	0.3	0.4	59.6

畜産物卸売価格の推移

(令和 7年 8月)
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上					牛肉			全国と畜 頭数		鶏 卵	鶏 肉	京
	東京		大阪		加重 平均 価格	東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	価格	頭数		和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年 7月	832	6,823	801	389	830	1,969	1,557	1,024	1,311,116	100,067	200	630	370
6年 8月	767	6,846	796	356	768	1,977	1,564	1,057	1,222,786	82,193	217	629	372
上 旬	799	2,514	845	86	801	1,994	1,608	1,030	54,725	3,971	207	627	370
中 旬	794	1,710	767	134	793	1,969	1,521	-	40,138	2,240	212	632	376
下 旬	717	2,622	792	136	720	1,959	1,541	1,073	52,556	3,416	229	631	374
7年 7月	868	5,986	867	223	868	2,155	1,609	1,224	1,281,338	99,142	329	817	565
7年 8月	670	5,680	903	161	676	2,063	1,568	1,136	1,192,600	76,880	310	791	585
上 旬	726	1,883	882	26	728	2,129	1,626	1,118	46,738	3,511	311	796	583
中 旬	665	1,592	921	59	674	2,099	1,583	-	37,810	2,165	310	791	584
下 旬	625	2,205	896	76	634	1,991	1,502	1,146	62,943	4,379	310	787	587
1日(金)	771	306	-	-	771	2,155	1,714	1,043	54,100	4,900	315	801	583
2日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	2,800	-	-	805	582
3日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4日(月)	755	192	929	15	768	2,161	1,617	-	62,300	5,340	310	788	574
5日(火)	791	323	-	-	791	2,197	1,654	-	62,300	4,820	310	800	584
6日(水)	708	215	856	5	711	2,111	1,628	-	60,400	3,890	310	-	-
7日(木)	682	475	786	6	683	2,119	1,596	-	62,000	3,420	310	786	581
8日(金)	685	372	-	-	685	2,068	1,582	1,138	61,100	2,200	310	794	583
9日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	8,900	-	-	795	593
10日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
11日(月)	-	-	-	-	-	-	-	-	27,800	410	-	-	-
12日(火)	682	301	911	15	693	-	-	-	61,300	1,860	310	783	580
13日(水)	-	-	796	10	796	-	-	-	36,600	1,620	310	-	-
14日(木)	-	-	-	-	-	-	-	-	24,500	1,060	310	-	-
15日(金)	687	396	-	-	687	2,090	1,571	-	17,200	1,150	-	-	-
16日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	19,400	300	-	-	-
17日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	1,000	220	-	-	-
18日(月)	653	404	-	-	653	2,108	1,500	-	65,500	5,210	310	790	582
19日(火)	651	270	1,096	5	659	2,103	1,646	-	64,000	4,970	310	800	589
20日(水)	641	221	940	29	676	2,096	1,572	-	60,800	4,850	310	-	-
21日(木)	646	355	944	10	654	2,011	1,533	-	63,400	4,160	310	798	586
22日(金)	632	377	-	-	632	1,960	1,410	-	60,500	4,530	310	788	581
23日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	588
24日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25日(月)	620	285	959	18	640	2,040	1,575	-	63,400	4,940	310	789	582
26日(火)	634	312	-	-	634	2,018	1,513	1,045	66,000	4,480	310	788	591
27日(水)	624	210	863	48	668	1,952	1,539	-	62,300	4,540	310	-	-
28日(木)	606	356	-	-	606	1,991	1,478	1,156	64,000	3,680	310	782	588
29日(金)	613	310	-	-	613	2,022	1,483	-	61,000	4,320	310	786	586
30日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	772	592
31日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)
 注4) 「-」は取引無し
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 9月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,080	2,527	2,090	-	-
		安値	2,019	1,963	1,620	-	-
		平均	2,352	2,088	1,816	-	-
	96頭	頭数	63	28	5	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	1,646	-	-
	1頭	頭数	-	-	1	-	-
	去 A	高値	3,079	2,281	2,020	1,892	-
		安値	2,017	1,983	1,838	1,272	-
		平均	2,369	2,078	1,939	1,486	-
	183頭	頭数	136	35	9	3	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,555	1,435	1,397	-
		頭数	-	5	8	3	-
	雌 C	平均	-	-	1,297	1,257	-
		頭数	-	-	1	1	-
	去 B	平均	-	1,517	1,481	1,403	-
13頭	頭数	-	1	10	2	-	
去 C	平均	-	-	-	1,296	-	
1頭	頭数	-	-	-	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	400	718	-	(競り)	(相対)	
売買	393	606	303.0	-	20	69

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,264	1,786	1,575	1,440	-
	B	-	1,524	1,523	1,462	-
和 去	A	2,296	2,035	-	-	-
	B	-	-	1,726	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,068	1,029
	C	-	-	-	1,052	985
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,737	1,465	1,288	-
	C	-	-	1,119	1,190	-
交 去	B	1,876	1,628	1,520	1,442	-
	C	-	-	1,319	1,329	752

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	729	800	712	654	608
	安値	679	605	566	492	284
	平均	699	645	628	610	540
	頭数	(3)	(171)	(225)	(126)	(81)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	582
	安値	-	-	-	-	582
	平均	-	-	-	-	582
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(20)

[大阪食肉卸売市場] 9月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,405	2,126	1,934	1,834	-
(頭数)	(9)	(10)	(3)	(1)	(-)
B	-	1,989	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(1)	(-)	(-)
和 去 A	2,488	2,142	-	-	-
(頭数)	(7)	(5)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	1,875	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(2)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,670	1,575	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,717	-	1,490	-
C	-	-	1,512	1,449	-
豚	-	679	635	554	479

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	9月3日	9月2日	(9月累計)
豚	58,500	58,900	178,600
成牛計	4,470	4,400	13,660
和牛雌	1,200	1,070	3,210
和牛去勢	1,160	1,120	3,740
乳牛雌	550	890	1,910
乳牛去勢	410	540	1,420
交雑雌	670	400	1,600
交雑去	460	360	1,740

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 9月3日

東京	1,483円	(前日 1,439円)
大阪	1,761円	(前日 1,591円)

[豚・全農建値] 9月3日

上	中	取引頭数	市況
648円	630円	29頭	急伸

と畜	牛 92頭	豚 118頭	牛概況	もちあい
売買	牛 52頭	豚 111頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 9月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	691 (713)	- (-)	5,394	-	下押し
仙台 [中]	- (-)	- (-)	541	1	-
栃木 [地]	608 (-)	541 (-)	1,543	86	上伸
茨城 [地]	630 (609)	595 (578)	1,150	433	急伸
群馬 [地]	651 (650)	522 (545)	1,910	237	堅調
さいたま [中]	654 (638)	645 (623)	215	214	続伸
東京 [中]	645 (629)	628 (609)	718	606	上伸
横浜 [中]	646 (617)	617 (593)	624	625	反発
山梨 [地]	642 (711)	- (705)	140	93	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	681 (679)	652 (658)	775	186	もちあい
京都 [中]	- (783)	- (720)	-	-	休市
大阪 [中]	679 (-)	635 (-)	118	97	まちまち
神戸 [中]	- (784)	- (809)	116	-	上場なし
岡山 [地]	657 (652)	636 (642)	249	264	堅調
広島 [中]	650 (710)	619 (649)	222	74	急落
福岡 [中]	631 (630)	593 (599)	240	187	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 8月27日～9月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,514,313 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,311	1,416	1,496	1,410	72,185
うで	832	919	972	919	100,078
ロース	1,178	1,260	1,391	1,282	156,414
ばら	1,274	1,390	1,429	1,382	139,950
もも	799	874	1,063	893	143,960
ヒレ	1,188	1,189	1,189	1,189	16,694
セット	999	1,097	1,143	1,085	885,032

◇近畿圏 総重量 621,845 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,390	1,464	1,510	1,468	52,384
うで	810	883	896	877	98,592
ロース	1,285	1,382	1,450	1,381	83,977
ばら	1,393	1,455	1,490	1,456	104,708
もも	804	835	912	840	145,138
ヒレ	1,296	1,482	1,597	1,463	9,276
セット	1,017	1,070	1,216	1,090	127,770

[食鳥正肉日経相場] 9月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	682	768	954	153
ムネ	515	569	703	133

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	669	747	1,030	4
ムネ	509	547	644	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 9月2日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	2日分は5日掲載				
安値					
平均					

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日区間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

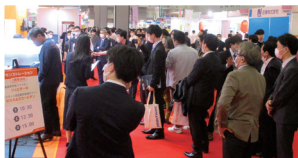
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

イベント

国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総菜の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

教材&レポート等

あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

知識を豊かにする

食肉用語事典(新改訂版)

昭和51年の初版から平成22年の新改訂版へと続く、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語を採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995